

総評

標準・裁量に分かれての、はじめての道コンでした。数学が特に難しく、理科と英語も難しかったようです。

平均点付近の方にとっては、近年の入試とくらべると、5教科合計で標準問題は25点前後、裁量問題は20点前後難しくなっています。8月までの道コンとは難易度が違うので、成績を比較するには得点ではなく道コンSSを利用してください。

教科ごとの難易度は実際の入試でも変動が大きいものです。問題の難易度にふり回されることなく、「解けるはずの問題」を「確実に得点する」ことを心がけましょう。標準・裁量に分かれたことで、時間配分のイメージや、注意すべきポイントがより明確になったと思います。出題パターンに慣れ、さらに得点を伸ばしていきましょう。

国語

標準問題、裁量問題どちらも、標準的な出題でした。

㉓は、問一(1)が標準裁量ともに難しかったようです。問三(2)のような長い記述は、主述のねじれや誤字脱字を見落としがちです。必ず見直すようにしましょう。

㉔の小説は、標準裁量ともによくできています。

㉕(裁量)は、問一の「功罪」の書きが難しかったようです。問二～五を得点できなかった人は、段落ごとの内容をおさえながら、もう一度読んでみましょう。

㉖の問二は、書き抜きの問いですが、該当部分の口語訳を書いた答案が目立ちました。「現代仮名づかい」と「口語訳」は異なるので注意しましょう。標準では、㉗の得点率が特に低いです。まずは文章全体の大まかな意味をつかめるようになることを目標にして、問題演習を重ねましょう。

数学

㉒、㉓が難しく、得点がのびませんでした。特に裁量問題は難易度の高い出題となりました。

㉑、㉒はどれも基本問題ですが、大問㉒の問3、問4の得点率が伸びませんでした。問4の作図では、角の二等分線を作図する誤りが目立ちました。問題文をよく読み、求める点や直線がどのような点(直線)かを見極めてから、作図する方法を考えるようにしましょう。

㉓は、問2でつまずいた人が多いようです。「水面の高さ」と「体積」を混同した答案が多数ありました。身近な事象にグラフをからめる問題は近年出題頻度が高まっているので、他の問題にも挑戦しておきましょう。

㉔の裁量問題ですが、問1、問2の(1)のような基本問題の取りこぼしがなく、全体の分量と時間配分を意識して取り組みましょう。

社会

標準的な出題でした。

㉑問5が難しかったようです。工業地帯・地域を比較した資料を教科書などで復習し、それぞれに含まれる県の特徴を理解しておきましょう。地理は㉒問3(1)の記述問題で、「白人が有利になる」という答案が目立ちました。政策などの内容は語句だけではなく、内容までしっかり説明できることが重要です。歴史は㉓問2の鎌倉幕府に関する問題が難しかったようです。幕府の位置やできごと、代表的な人物と一緒に覚えるようにしましょう。公民は基本問題はよくできていましたが、㉔問6の記述問題が難しかったようです。憲法や法律と権利の関係は、受験生が間違えやすいポイントです。新しい人権に関する問題だけではなく、自由権や平等権などについても、教科書を読んで確認するようにしましょう。

理科

やや難しい出題となりました。

㉒問2の記述では、理解できていると思われるが、表現が適切ではない答案が目立ちました。自分で書いた内容をすぐに見直して、得点を取り逃さないように意識しましょう。㉓は、問1～3は基本的な内容であったこともありよくできていました。一方、問4(1)は思考力が試される問題でしたので、得点率は高くなりませんでした。㉔問4は、見慣れない形式であり、計算問題ということもあって、正解できた人が少なかったようです。考え方や、計算自体は難しくありませんので、演習を重ねて、このような問題にも対応できるよう備えましょう。㉕は、特に難しい問題は含まれておらず、どれも基本的な内容でした。間違ったところがあれば、しっかりと復習しておきましょう。

英語

標準問題、裁量問題とも、難しい出題となりました。

㉑のリスニング問題で得点できなかった人が多かったようです。難しい問いもありましたが、入試のリスニング問題も近年は難化傾向にあります。しっかり対策をして本番に臨めるように準備していきましょう。

標準問題では、全体的にあまり得点率が伸びませんでした。㉒問3(2)は4.1%と非常に低くなりましたが、単語自体は1年生で学習しています。複数形のsのつけ方とスペルをもう一度確認しておきましょう。

裁量問題では、全体に40～50%の得点率の問いが多かったようです。㉓A問3は、18年の入試でも出題された文整序の問題でしたが、30%弱の得点率となりました。本文中では順番が前後して書かれているので、接続詞などに着目してしっかりと内容を把握しましょう。